

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎0120-154-052)
2019年5月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で1,364件の相談が寄せられ、前年同月の1,117件を200件以上回った。年代別では40代、50代が全体の半数以上を占めた。
- 業種別については、6カ月連続で「医療・福祉」(187件・20.6%)が最も多く、先月に続いて「サービス業(他に分類されないもの)」(164件(18.1%))が二番目に多かった。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(175件・12.8%)が先月と同様に最も多かった。また、2019年4月の法改正(年次有給休暇の時季指定義務)の影響もあってか、「年次有給休暇」(100件・7.3%)が過去の月間集計と比較しても目立ち始めている。
- 具体的な相談では、「職場で複数の職員からパワー・ハラスメントを受けていて休みがちになり、退職勧奨を受けた」「上司からパワハラを受けていて、夜も寝れない状態や、職場に行けない状況で苦しんでいる。解決方法をアドバイスしてほしい」などが寄せられた。

		2019年				2018年			
集計対象期間		5月1日～5月31日				5月1日～5月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,364				1,117			
報告(本部・地方)数		48				48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合			
性別 (未報告除く)	男性	662	48.5%	男性	600	53.7%			
	女性	699	51.2%	女性	517	46.3%			
	その他	3	0.2%						
年代 (不明除く)	10代	9	1.1%	10代	14	1.6%			
	20代	113	13.8%	20代	105	11.8%			
	30代	136	16.6%	30代	189	21.2%			
	40代	219	26.7%	40代	302	33.9%			
	50代	217	26.4%	50代	193	21.7%			
	60代	104	12.7%	60代	71	8.0%			
	70代	23	2.8%	70代	16	1.8%			
雇用形態 (未報告除く)	正社員	676	49.6%	正社員	544	52.5%			
	パートタイマー	242	17.7%	パート	179	17.3%			
	アルバイト	65	4.8%	アルバイト	68	6.6%			
	派遣社員	72	5.3%	派遣社員	69	6.7%			
	契約社員	108	7.9%	契約社員	94	9.1%			
	嘱託社員(再雇用含)	14	1.0%	嘱託社員	17	1.6%			
	臨時・非常勤職員	13	1.0%	臨時・非常勤職員	4	0.4%			
	その他	174	12.8%	その他	62	6.0%			
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	187	20.6%	サービス業(他に分類されないもの)	146	19.1%		
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	164	18.1%	医療・福祉	125	16.4%		
	3位	製造業	118	13.0%	卸売・小売業	99	13.0%		
	4位	卸売・小売業	105	11.6%	製造業	98	12.8%		
	5位	運輸業	85	9.4%	運輸業	66	8.6%		
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	175	12.8%	パワハラ・嫌がらせ	157	14.1%		
	2位	雇用契約・就業規則	117	8.6%	退職金・退職手続	126	11.3%		
	3位	退職手続	113	8.3%	雇用契約・就業規則	125	11.2%		
	4位	年次有給休暇	100	7.3%	解雇・退職強要・契約打切	115	10.3%		
	5位	解雇・退職強要・契約打切	91	6.7%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	59	5.3%		
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	15	1.2%	新聞・雑誌	33	3.3%			
	ラジオ・テレビ	10	0.8%	ラジオ・テレビ	18	1.8%			
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	64	5.3%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	120	12.1%			
	ホームページ	807	66.9%	ホームページ	534	54.0%			
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	14	1.2%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	25	2.5%			
	紹介	110	9.1%	紹介(労基署等)	47	4.8%			
	その他	186	15.4%	その他	211	21.4%			

【参考】2019年5月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 54件